

有限会社石川養豚場

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>有限会社石川養豚場は、知多半島の温暖な気候と豊かな自然の中、国際的な衛生管理基準である「HACCP認証」・食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる「JGAP認証」を取得した農場で、飼育から加工、販売まで一貫して行い、安心・安全な豚肉の提供に取り組んでいます。</p> <p>当社オリジナル銘柄豚である「あいぼ一く」は、①三元交配豚②オリジナル餌配合③年4回の餌配合調整④各種認証農場で生産された安心・安全な豚肉です。</p> <p>地域社会と共存した魅力ある農場を実現する為、耕畜連携や多様な人材が活躍できる職場環境づくりにも取り組んでいます。</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	2、3	衛生管理が行き届いた認証農場・工場で、安全・安心な豚肉を生産し供給する。	<p>出荷頭数増加 32,000頭（2022年）→35,000頭（2030年）</p> <p>工場生産量増加 300 t（2022年）→450 t（2030年）</p>
	社会	8	多様な人材が活躍・成長でき、働き甲斐のある職場環境・制度をつくり、従業員の物心両面の幸福の追求に取り組む。	2030年までに農場事業で3名以上、食肉事業で5名以上の新規採用を行う。
	環境	12	養豚場から出る糞尿を堆肥化して、地元農家へ肥料として供給。資源循環型農業の推進。	排せつ物の堆肥化・農家供給率100%を継続。 100%（2022年）→100%（2030年）